

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

健康で豊かな生活づくりに貢献する。信を万事の本と為す、時代への適合を社是に、健康と信頼をお届けする。

売上高
9,500億円

営業利益
570億円

EPS
140円

ROIC（全社）
7%

② 中長期の経営戦略

1. 事業ポートフォリオの再構築

国内製粉・加工食品・酵母のコアビジネス継続、海外・中食・惣菜事業の拡大、健康・バイオ事業等の成長を推進。

3. ESG経営の推進

2050年にCO2実質ゼロ、2030年度までに2013年度比50%削減を目標に、環境をサステナビリティの最重要課題に位置付ける。

2. ステークホルダー重視経営

小麦粉等の安定供給という社会的使命を認識し、すべてのステークホルダーを大切にしたい信頼される企業を目指す。

4. デジタル・自動化戦略

デジタル技術とロボット技術活用で自動化・省人化を推進。特に中食・惣菜事業で競争優位性を高める。

③ 対処すべき課題

① インフレ環境への対応

- ・ 原材料価格・人件費・物流費の継続的上昇への対応が課題
- ・ 生産性向上と適正な価格改定への取組み
- ・ 為替変動による円安影響への対処

② 海外事業の構造改革

- ・ 豪州製粉事業で2026年度に42百万豪州ドルの増益目標達成
- ・ インドイースト事業の中期計画期間中の黒字化
- ・ サプライチェーン最適化と自動化の推進

③ 地球温暖化と社会課題への対応

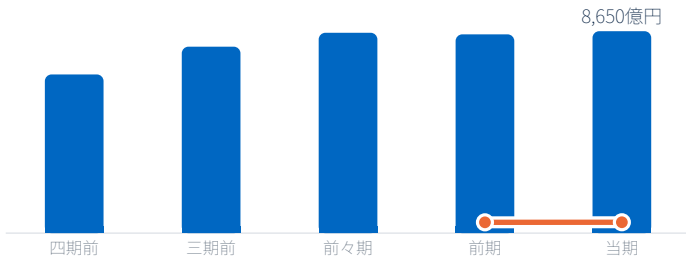
- ・ 2050年自社拠点CO2排出実質ゼロの達成
- ・ 2030年度までのCO2削減50%（2013年度比）の実現
- ・ 食品廃棄物・容器包装廃棄物・水使用量の削減

面接で使えるポイント

- ・ 1900年創業から120年以上にわたり築いた高い技術力と販売基盤を活かした食の安定供給への貢献
- ・ 2026年度売上高9,500億円、営業利益570億円達成を目指す中期経営計画への組織的な推進
- ・ 2050年CO2排出実質ゼロと2030年度50%削減を掲げた環境経営で、地球温暖化対策に主体的に取り組む

証券コード 2002

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
8,650億円営業利益率
5.4%財務健康度
51点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 62.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
898万円

食料品内 12位/120社

平均年齢
42.0歳

食料品内 47位/121社

平均勤続
15.2年

食料品内 60位/121社

女性管理職
20.0%

食料品内 13位/106社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

